

FINANCIAL REPORT 2015



平成 27 事業年度 財務レポート

—INDEX—

財務諸表等の概要	1
・貸借対照表 B/S	1
・損益計算書 P/L	3
・キャッシュ・フロー計算書	5
・国立大学法人等業務実施コスト計算書	6
財務状況	7
財務指標による分析	9
福大 HOT NEWS	11



附属病院外来 エスカレーター

財務諸表等の概要

◆貸借対照表B/S

貸借対照表とは、平成28年3月31日時点で本学がどのくらいの資産を保有し、外部にどれだけの債務を負っているか、基盤となる純資産はどれだけあるかなど財政状態を表示したものです。

(単位：百万円)

主な増減理由	区 分	平成26年度	平成27年度	増減額
	資産の部			
	固定資産			
	土地	42,278	42,278	0
医学部附属病院改修に伴う増	建物	26,150	26,851	701
	構築物	457	430	▲27
医学部附属病院病棟新営終了に伴う減	工具器具備品	7,710	7,499	▲211
	図書	2,578	2,607	29
	美術品・收藏品	49	49	0
医学部附属病院病棟改修に伴う増	建設仮勘定	553	955	402
	特許権	13	15	2
	ソフトウェア	76	88	12
長期定期預金だったものを短期定期預金へ振替たことによる減	特許権仮勘定	49	49	0
	その他	1,009	5	▲1,004
	流動資産			
短期定期預金額の増	現金及び預金	8,640	9,252	612
	未収学生納付金収入	37	40	3
	未収附属病院収入	2,605	2,694	89
補助金、受託・共同研究分の減	その他未収入金	237	188	▲49
	たな卸資産	24	18	▲6
	医薬品及び診療材料	123	158	35
	その他	59	30	▲29
	資産合計	92,647	93,207	560

注) 単位未満は四捨五入しており、計は必ずしも一致しません。

資 産

平成27年度末現在の資産は、前年度比5億6千万円(0.6%)増の932億7百万円となっています。主な増加要因としては、建物が、附属病院病棟改修などの増加等により前年度比7億1百万円(2.68%)増の268億5千1百万円となったこと、現金及び預金が、第2期中期目標・中期計画期間の最終年度において、予算早期執行に伴う支払資金確保等により前年度比6億1千2百万(7.08%)増の92億5千2百万円となったことが挙げられます。

一方、主な減少要因としては、長期性預金を現金及び預金へ振替えたことに伴い前年度比10億4百万円(99.5%)減の5百万円となったことが挙げられます。

平成 27 年度末現在の負債は、前年度比 17 億 4 千 6 百万円 (5.51%) 増の 334 億 3 千 3 百万円です。
 主な増加要因としては、未払金が、病棟新営その他工事費用の未払金増に伴い前年度比 17 億 1 千 7 百万円 (56.57%) 増の 47 億 5 千 2 百万円となったこと、及び長期借入金、附属病院病棟設備に係る借入に伴い前年度比 14 億 8 千 9 百万円 (14.23%) 増の 119 億 5 千 1 百万円となったことが挙げられます。
 一方、主な減少要因としては、運営費交付金債務が、業務達成基準事業の終了及び退職金等の執行に伴い前年度比 10 億 9 千 6 百万円減の 0 円となったことが挙げられます。

(単位：百万円)

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	増減額
負債の部			
固定負債			
資産見返負債	9,125	9,413	288
財務・経営センター負担金	1,210	919	▲291
長期借入金	10,462	11,951	1,489
長期リース債務	146	67	▲79
その他	221	599	378
流動負債			
運営費交付金債務	1,096	0	▲1,096
寄附金債務	4,097	3,907	▲190
前受受託研究費等	138	130	▲8
財務・経営センター負担金	310	291	▲19
長期借入金	511	513	2
未払金	3,035	4,752	1,717
短期リース債務	510	132	▲378
その他	827	759	▲68
負債合計	31,687	33,433	1,746
純資産の部			
資本金	50,666	50,666	0
資本剰余金			
資本剰余金	15,083	16,056	973
損益外減価償却累計額	▲11,392	▲12,313	▲921
その他	▲2	▲3	▲1
利益剰余金			
教育研究環境向上積立金	785	0	▲785
積立金	1,000	1,000	0
前中期目標期間繰越積立金	4,819	4,819	0
当期未処分利益(未処理損失)	1	▲452	▲453
純資産合計	60,960	59,774	▲1,186
負債・純資産合計	92,647	93,207	560

- 主な増減理由**
- 運営費交付金財源購入資産の増
 - 27 年度返済による減
 - 27 年度借入による増
 - リース資産購入減に伴う長期リース債務の減
 - 前年度から繰越した事業の完了及び第 2 期中期目標期間の最終年度における精算のための収益化による減に伴う減
 - 医学部附属病院改修その他工事費用の支払等に伴う増
 - 教育研究環境向上積立金を財源に取得した固定資産の増に伴う増(主なもの)
 - ・キャンパス統合情報ネットワークシステム
 - ・血管造影検査・治療システム

注) 単位未満は四捨五入しており、計は必ずしも一致しません。

純資産

平成 27 年度末現在の純資産は、前年度比 11 億 8 千 6 百万円 (1.95%) 減の 597 億 7 千 4 百万円です。
 主な減少要因としては、教育研究環境向上積立金(目的積立金)を全額執行したことにより 0 円となったこと及び附属病院再開発整備に伴う減価償却費の増により当期未処分損失が 4 億 5 千 2 百万円となったことが挙げられます。

◆損益計算書P/L

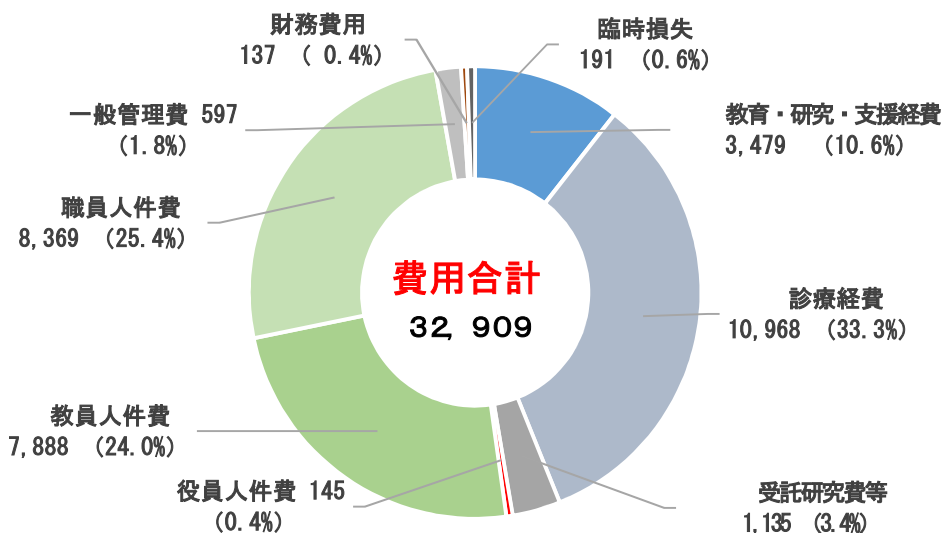
損益計算書とは、平成27年度の1年間に本学が業務運営を行う上で費用がいくらかかり、収入がいくらあったかなどの財政面から見た1年間の運営状況を表示したものです。

(単位：百万円)

区分	平成26年度	平成27年度	増減額
経常費用			
業務費			
教育経費	1,429	1,382	▲47
研究経費	1,711	1,662	▲49
診療経費	10,420	10,968	548
教育研究支援経費	435	435	0
受託研究費	801	949	148
受託事業費	131	186	55
役員人件費	108	145	37
教員人件費	7,865	7,888	23
常勤教員給与	6,217	6,272	55
非常勤教員給与	1,647	1,616	▲31
職員人件費	7,825	8,369	544
常勤職員給与	6,612	7,211	599
非常勤職員給与	1,213	1,157	▲56
一般管理費	604	597	▲7
財務費用	153	137	▲16
経常費用合計	31,482	32,718	1,236
臨時損失			
固定資産除却損	5	93	88
前期損益修正損	1	4	3
その他	38	94	56
臨時損失合計	44	191	147

注) 単位未満は四捨五入しており、計は必ずしも一致しません。

費用の内訳



(単位：百万円)

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	増減額
経常収益			
運営費交付金収益	9,602	9,611	9
授業料収益	2,446	2,417	▲29
入学金収益	381	389	8
検定料収益	89	87	▲2
施設費収益	80	58	▲22
補助金等収益	753	495	▲258
附属病院収益	15,176	15,852	676
受託研究等収益	803	951	148
受託事業等収益	129	189	60
寄附金収益	292	450	158
講習料収益	53	47	▲6
資産見返負債戻入	1,343	1,406	63
財務収益	8	7	▲1
雑益	356	372	16
経常収益合計	31,512	32,330	818
経常利益	30	▲388	▲418
臨時利益			
運営費交付金収益	0	104	104
資産見返運営費交付金等戻入	0	3	3
資産見返寄附金戻入	2	13	11
資産見返補助金戻入	0	2	2
資産見返物品受贈額戻入	0	2	2
前期損益修正益	2	1	▲1
償却債権取立益	0	0	0
その他引当金戻入益	0	1	1
当期純利益（純損失）	▲10	▲453	▲443
目的積立金取崩額	10	1	▲9
当期総利益（総損失）	1	▲452	▲453

主な増減理由

授業料収入等減少に伴う減

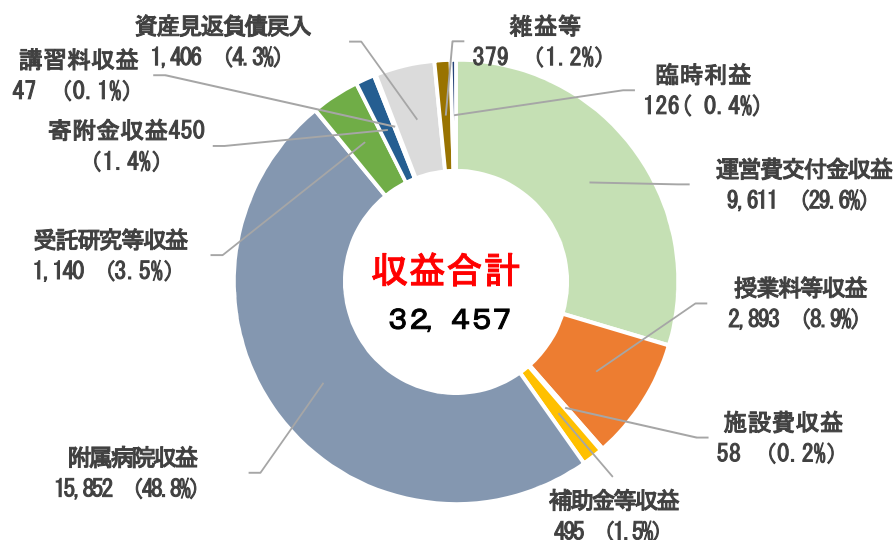
補助金受入額減少に伴う減

差額病室の増加及び施設基準の新規取得等による増、外来化学療法件数及び外来患者数の増加に伴う増

PCB 処理費用に伴う収益化の増及び第 2 期最終年度における運営費交付金債務の収益化の増

注) 単位未満は四捨五入しており、計は必ずしも一致しません。

収益の内訳



◆キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間における現金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分で表示するものであり、貸借対照表及び損益計算書と同様に、本学の活動全体を対象とする重要な情報を提供するものです。

(単位：百万円)

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	増減額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	3,763	2,051	▲1,712
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲11,266	▲11,770	▲504
人件費支出	▲16,055	▲16,285	▲230
その他の業務支出	▲575	▲678	▲103
運営費交付金収入	9,857	9,391	▲466
授業料等収入	2,848	2,830	▲18
附属病院収入	14,991	15,758	767
受託研究等収入	942	1,133	191
寄附金収入	554	679	125
補助金等収入	2,017	588	▲1,429
財産貸付料等収入	86	80	▲6
科学研究費補助金等の増減	24	▲35	▲59
その他収入	341	359	18
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲10,902	▲1,727	9,175
有形固定資産の取得による支出	▲11,164	▲3,390	7,774
無形固定資産の取得による支出	▲64	▲50	14
有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入	0	1	1
定期預金の払出・預入による収入支出	▲800	1,250	2,050
施設費による収入	1,119	455	▲664
資産除去債務の履行による支出	▲1	0	1
利息及び配当金の受取額	7	7	0
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	568	538	▲30
長期借入金による収入	1,925	2,002	77
国立大学財務・経営センター債務負担金返済	▲338	▲310	28
長期借入金の返済による支出	▲362	▲511	▲149
リース債務の返済による支出	▲501	▲504	▲3
小 計	724	678	▲46
利息の支払額	▲156	▲140	16
IV 資金に係る換算差額	—	—	—
V 資金増減額	▲6,570	862	7,432
VI 資金期首残高	12,900	6,329	▲6,571
VII 資金期末残高	6,329	7,191	862

注) 単位未満は四捨五入しており、計は必ずしも一致しません。

業務活動による
資金調達等
20 億円

投資活動による
資金利用等
▲17 億円

財務活動による
資金調達等
5 億円

平成 27 年度
キャッシュ増減額
8 億円

◆国立大学法人等業務実施コスト計算書

国立大学法人等業務実施コスト計算書とは、国立大学法人等の業務運営に関して、国民の負担に帰せられるコストを示すものです。

平成27年度本学の業務運営上、納税者たる国民の負担していただいているコストは13,124百万円(国民1人当たり約103円)です。

(単位：百万円)

区分	平成26年度	平成27年度	増減額
I 業務費用	11,551	11,858	307
(1) 損益計算書上の費用	31,526	32,909	1,383
業務費	30,725	31,983	1,258
一般管理費	604	597	▲7
財務費用	153	137	▲16
臨時損失	43	191	148
(2) (控除) 自己収入等	▲19,974	▲21,050	▲1,076
授業料等収益	▲2,916	▲2,893	23
附属病院収益	▲15,176	▲15,852	▲676
受託研究等収益	▲932	▲1,140	▲208
寄附金収益	▲292	▲450	▲158
その他収入	▲53	▲47	6
資産見返運営費交付金等戻入(授業料)	▲213	▲203	10
資産見返寄附金等戻入	▲193	▲241	▲48
建設仮勘定見返運営費交付金戻入(授業料)	▲8	▲6	2
財務収益	▲8	▲7	1
雑益	▲181	▲204	▲23
臨時利益	▲2	▲8	▲6
II 損益外減価償却相当額	988	1,001	13
損益外減価償却相当額	988	1,001	13
損益外固定資産除却相当額	—	—	—
III 損益外減損損失相当額	—	—	—
IV 損益外利息費用相当額	0	0	0
V 損益外除売却差額相当額	1	▲1	▲2
VI 引当外賞与増加見積額	25	▲14	▲39
VII 引当外退職給付増加見積額	▲563	166	729
VIII 機会費用	331	114	▲217
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による	—	—	—
貸借取引の機会費用	119	114	▲5
政府出資の機会費用	213	0	▲213
無利子又は通常より有利な条件による融資取引の機会費用	—	—	—
IX (控除) 国庫納付額	—	—	—
X 国立大学法人等業務実施コスト	12,333	13,124	791

【業務費用】
119億円
～国の財源で賄われているコスト～
損益計算書の費用から授業料収益や病院収益等の自己収入を差し引いたもの。

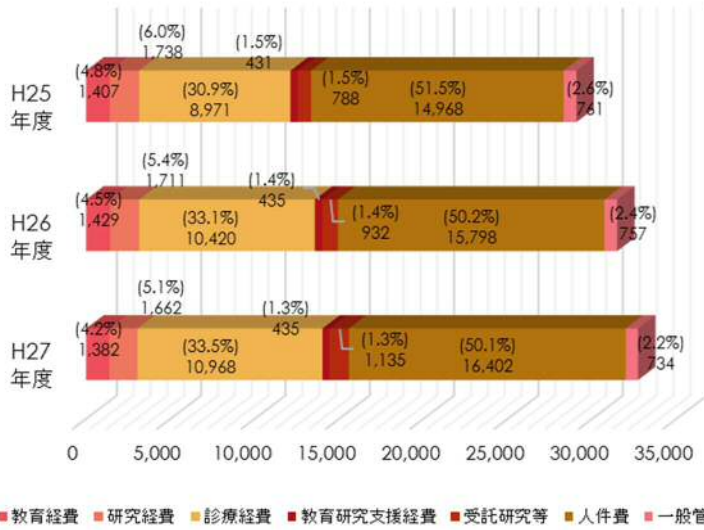
【損益外費用】
12億円
～損益計算書に計上されていないコスト～
国から出資された資産等の減価償却、除却損及び一部の退職手当など、制度上費用に反映されていない負担相当額。

【機会費用】
1億円
～免除・軽減されているコスト～
国等から無償借受している財産や国が法人へ出資している資本等を他の投資へ振り替えた場合に得られた利益を「利益喪失」の費用として認識。

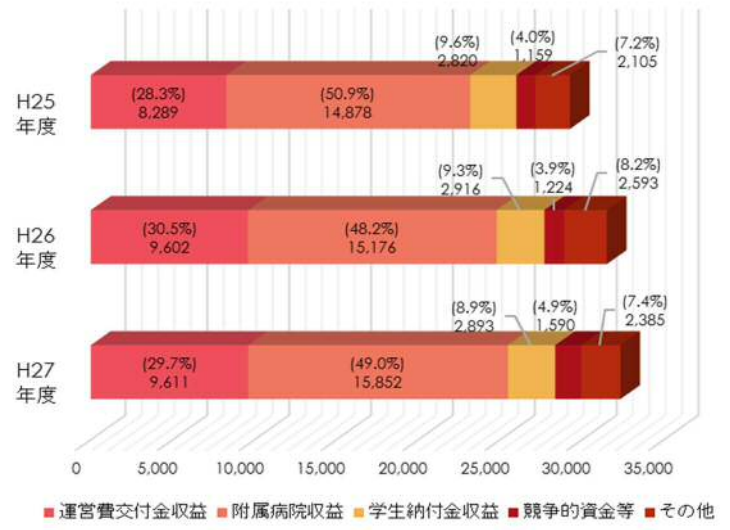
注) 単位未満は四捨五入しており、計は必ずしも一致しません。

【平成27年度業務実施コスト】
131億円
(国民1人当たり約103円)

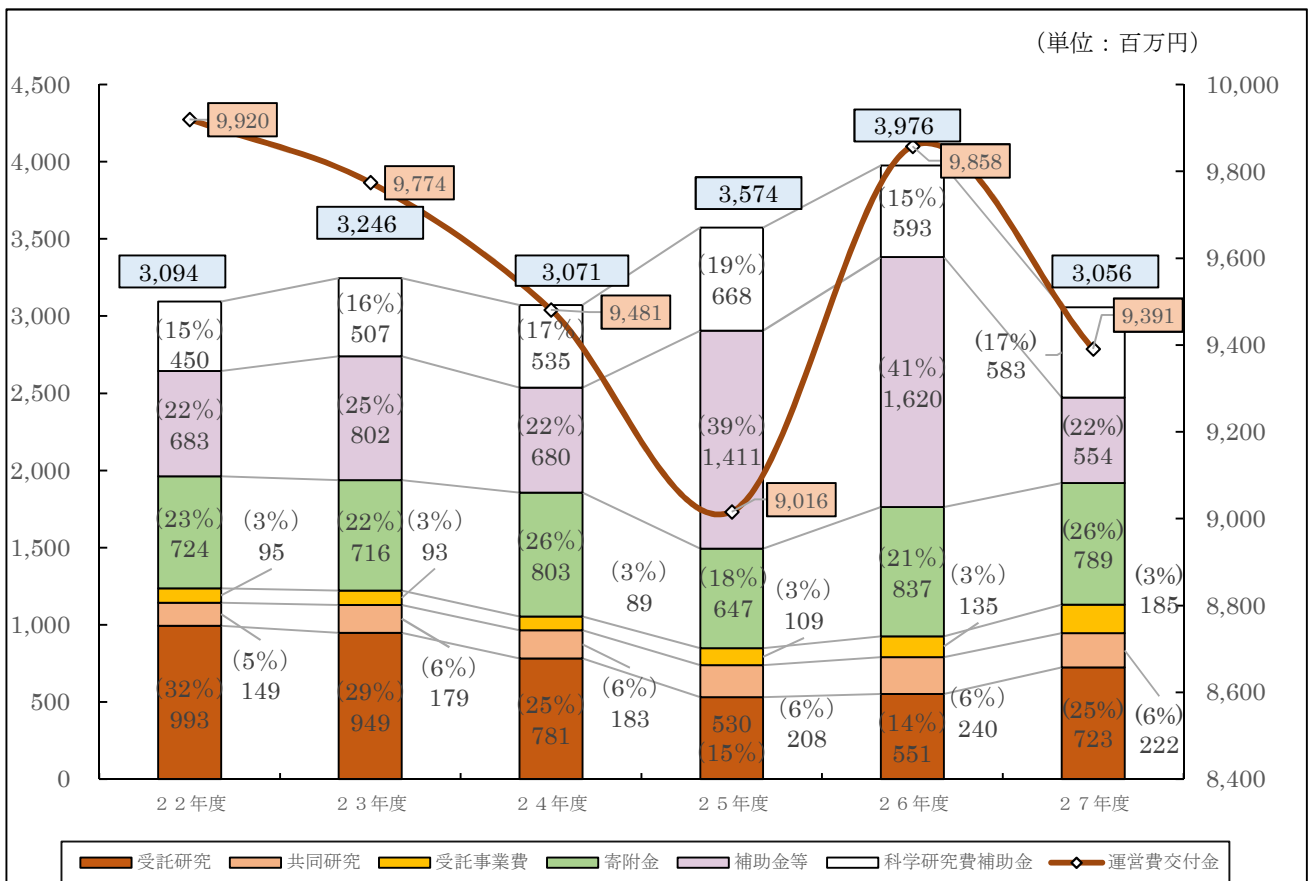
〔経常費用の推移〕



〔経常収益の推移〕

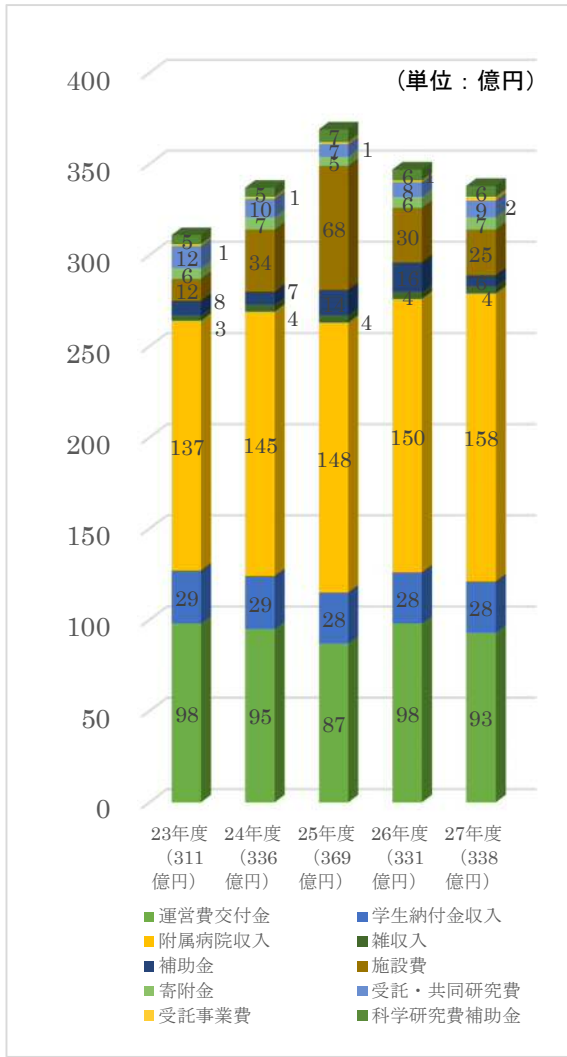


〔運営費交付金と競争的資金等獲得状況〕

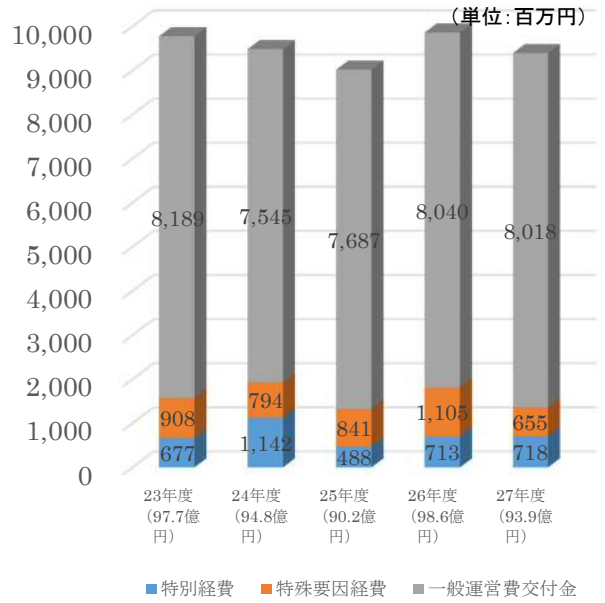


※ 平成 24 年度及び平成 25 年度は、国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の趣旨を踏まえた給与減額支給措置の影響により、運営費交付金の額が大幅に減少している。

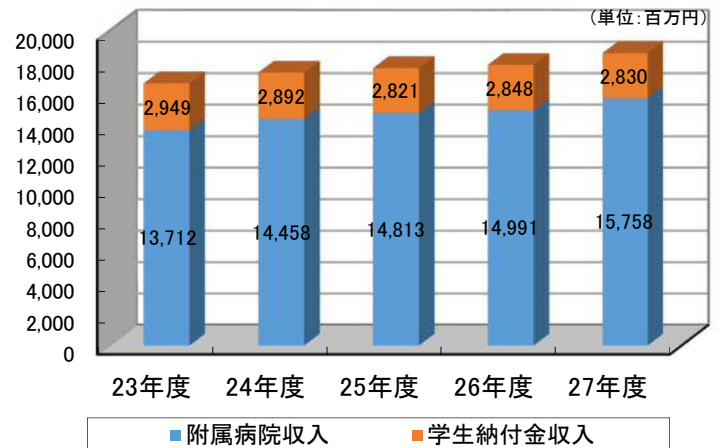
●大学運営資金(科研費、施設費等外部資金含む)



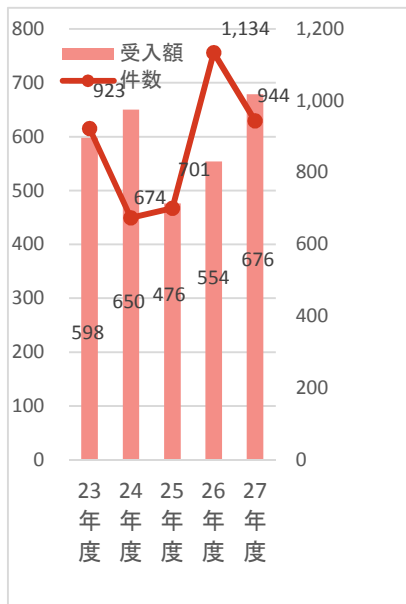
●運営費交付金収入



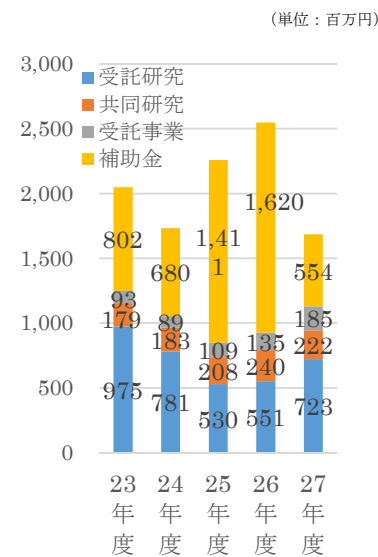
●自己収入(学生納付金・附属病院収入)



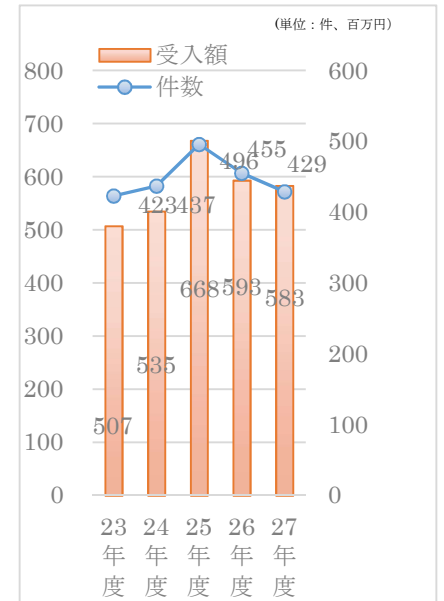
●寄附金 (単位: 件、百万円)



●受託研究・共同研究・受託事業・補助金



●科学研究費補助金



- ◆ 各財務指標の▲を付した指標は比率が高いほど、▼を付した指標は比率が低いほど良好な状況を示しています。また、前年度と比較して、各指標が改善している場合には▲、悪化している場合には▼、変化が無い場合には、→を付しています。
- ◆ 同規模大学とは、医学系学部その他の学部で構成され、学生収容定員 1 万人未満の 25 国立大学法人です。

指標名	同規模大学 平成 26 年度 平均値	本 学		
		平成 26 年度	平成 27 年度	増減 (27-26)
健全性	流動比率 ▲	114.2 %	111.4 %	118.1 % ▲6.7 %
	未払金比率 ▼	14.0 %	9.9 %	14.9 % ▼5.0 %
活動性	業務費対教育経費比率 ▲	5.3 %	4.7 %	4.3 % ▼▲0.4 %
	業務費対研究経費比率 ▲	5.6 %	5.6 %	5.2 % ▼▲0.4 %
	学生当教育経費 ▲	264 千円	282 千円	273 千円 ▼▲9 千円
	教員当研究経費 ▲	2,412 千円	2,945 千円	2,802 千円 ▼▲143 千円
発展性	外部資金比率 ▲	5.3 %	3.9 %	4.9 % ▲1.0 %
	経常利益比率 ▲	0.8 %	0.1 %	▲1.2 % ▼▲1.3 %
効率性	人件費比率 ▼	50.7 %	51.4 %	51.3 % ▲0.1 %
	一般管理費比率 ▼	2.9 %	2.0 %	1.9 % ▲0.1 %
収益性	診療経費比率 ▼	67.6 %	68.7 %	69.2 % ▼0.5 %
	附属病院収入対 長期借入金返済比率 ▼	7.5 %	4.7 %	5.2 % ▼0.5 %

健全性

国立大学法人として継続的安定的に高等教育サービスを提供するためには一定の財務の健全性（安定性）が必要となります。

活動性

国立大学法人は教育研究を行うところですから、教育研究や管理業務の活動状況を財務的に把握することが重要です。

発展性

国立大学法人の発展性は、財務的には、収益性を高めて財務体質を強化している程度を示しており、付加価値の増加分と言い換えることができます。

公 式	指標の意味
流動資産 / 流動負債	1年以内に支払うべき債務（流動負債）に対して、1年以内に現金化可能な流動資産がどの程度確保されているかを示す。
未払金 / 業務費	業務費に対する未払金の比率であり、財務の健全性を示す指標。この比率が低いほど大学の安定性（健全性）が高い。
教育経費 / 業務費	業務費に対する教育経費を示す指標。この比率が高いほど教育活動に使用される経費割合が高い。
研究経費 / 業務費	業務費に対する研究経費を示す指標。この比率が高いほど研究活動に使用される経費割合が高い。
教育経費 / 学生数（人）	学生1人当たりの教育規模を示す指標。この値が高いほど学生1人当たりの教育に要する経費が大きい。
研究経費 / 教員数（人）	教員1人当たりの研究活動規模を示す指標。この値が高いほど研究活動で使用される経費が大きい。
(受託研究等収益+受託事業等収益+寄附金収益) / 経常収益	外部資金収益の経常収益に占める割合を示す指標。この比率が高いほど外部資金への依存度が高い。
経常利益 / 経常収益	経常収益に対する大学の事業活動によって得た利益の割合を示す指標。この比率が高いほど事業の合理性と能率性が高い。
人件費 / 業務費	人件費の業務費に対する割合を示す指標。この比率が小さいほど大学の効率性が高い。（教育経費や研究経費を重視）
一般管理費 / 業務費	一般管理費の業務に対する割合を示す指標。この比率が小さいほど大学の効率性が高い。（教育経費や研究経費を重視）
診療経費 / 病院収益	病院収益に対する診療経費の割合を示す指標。この比率が低いほど病院の収益性が高い。
(長期借入金返済+財務経営センター納付金) / 附属病院収入	病院収入に対する借入金の割合を示す指標。この比率が低いほど病院の健全性が高い。

効率性

国立大学法人には、国の税金が投入され運営されていることから、効率的な運営は、国立大学法人にとって資源の効率的な利用になると同時に、国民の皆様にとっても税金が効率的に使用されているかどうかを示す重要な要素になります。

収益性

国立大学法人は、公共的性格を有することから利潤追求という観点からの収益性は求められていません。しかし、附属病院においては、多額の自己収入が発生し、それに応じた経費も多額となるため、診療経費に見合う収益確保は重要となります。

2016年、福井大学は新たなステージへ

福井大学は4学部体制の総合大学へ

国立大学法人は平成28年度～平成33年度が第3期中期目標期間として定められています。福井大学のさらなる機能強化に向け、平成28年度からスタートする第3期中期目標期間において、次のような重点的取組を掲げています。

教育

- ◆ グローバル化社会において地域創生を担う人材の育成
- ◆ 教育の国際通用性の向上
- ◆ 地域一体型教育の推進
- ◆ 学生に対する満足度の高い支援



研究

- ◆ 先端的画像医学研究
- ◆ 遠赤外線領域開発・応用研究
- ◆ 教師教育研究
- ◆ 原子力安全・危機管理研究
- ◆ 子どものこころの発達研究



グローバル化

- ◆ 国際通用性の高い世界に開かれた大学への改革
- ◆ 世界で活躍できる高度専門職業人の育成
- ◆ 地域のグローバル化を牽引



社会貢献

- ◆ 地域の知の拠点としての教育研究
- ◆ 地域の教育力向上
- ◆ 地域医療の向上
- ◆ 産業発展のためのイノベーション創出



医療

- ◆ 地域医療や先端医療を担う医療人の養成
- ◆ 高品質で高い安全性を有する医療の提供
- ◆ 県内唯一の特定機能病院として高度急性期医療機能の強化



新設

国際地域学部

県内の企業・自治体とともに
グローバル化する地域の諸課題の探究と解決にチャレンジ

本学の第4番目の学部として、国際地域学部を開設。この新学部では、グローバル人材と地域再生活活性化人材を一体的なものとして育成します。

地域の創生を担いグローバル化した社会の発展に寄与する人材



教育地域科学部を教育学部に再編し、新しい学校教育を担う教員を養成



平成 28 年度からのカリキュラム改編で、国際標準に準拠した新カリキュラムを導入

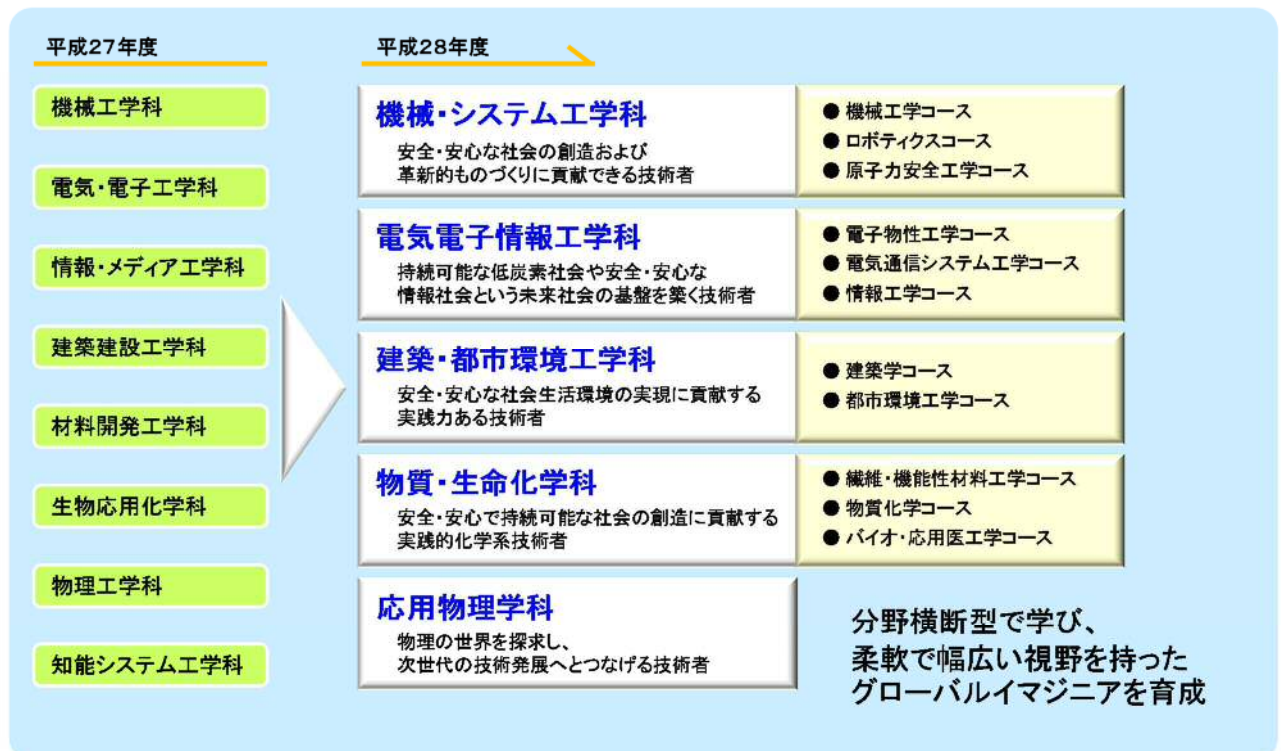
医学教育の国際標準化促進

世界医学教育連盟が定める「医学教育のための質的保証」に準拠したカリキュラムを編成し、高度専門職業人として国際的に通用する医師の育成を促進

医学教育の国際認証評価に向けた取組み

学生用電子カルテ・ポータル・課題提出機能・教員用評価機能を一体化したシステム (Bed-side LMS) を整備し、有機的な臨床実習を実現するとともに、診療参加型実習の質と安全を保証

興味に応じて工学の幅広い分野を学べるよう8学科から5学科に再編



灯りで心に感動を

Campus Illumination



キャンパスイルミネーションは、平成 21 年冬に文京キャンパスで初めて開催され、翌年からは患者さんに優しい灯りを届けようと松岡キャンパスでも開催しています。学生の思い出に残る感動を与えるイルミネーションとなるよう、学生自らが企画し、毎年行灯やオブジェを用いた様々な技術・工夫を重ねた福井大学ならではの「ものづくり」としての取り組みが行われています。学校・商業施設などからのご依頼を受け、学生が主体となってイルミネーションやプロジェクションマッピングの企画・運営にも取り組んでいます。

財務レポートをお読みいただきありがとうございました。

なお、財務レポート等決算に関連する資料は、本学ホームページにて開示しております。

<http://www.u-fukui.ac.jp/>

今後もみなさまに財務情報をわかりやすく説明するよう努めてまいります。

財務レポートに関するみなさまからのご意見を賜りますようお願いいたします。

国立大学法人福井大学 2015財務レポート

発行：福井大学財務部財務課決算係

〒910-8507 福井市文京 3-9-1

TEL 0776-27-9786 FAX 0776-27-8870

<mailto:zzkessan-k@ad.u-fukui.ac.jp>